

同窓会と学校から口蹄疫義援金を宮日新聞社にお届けしました

宮崎日大高校同窓会（会長：黒木洋一氏）と宮崎日本大学学園は、この度の口蹄疫被害の皆様に対する義援金を、宮崎日日新聞社に5月24日（月）にお届けしました。

お届けに伺ったのは、同窓会の日高三朗副会長と、学校を代表して若友慶二理事長が宮日本社を訪問致しました。

日大高校の同窓生は26,000名を超えており、今回の被害をお受けになった同窓生もおられるのではないかと、今回の義援金を寄付することになりました。

金額は、同窓会から10万円、学校から10万円が寄付され、これは宮日新聞社から、県や日本赤十字社を通して被害をお受けになった方々へ使われることになるということです。

尚、宮崎日大中学校・高等学校の、それぞれの生徒会では、義援金募金を現在計画していません。



義援金をお渡しする若友理事長

本学園では、殺処分の対象になった保護者家庭には、お見舞金をさし上げています。保護者の皆様で該当のご家庭は、担任までご相談下さい。



義援金をお渡しする同窓会の日高副会長